

CSR報告書 2024

ひとの暮らしの中に広がる
カシュウのやさしいぬくもりと先進の技術



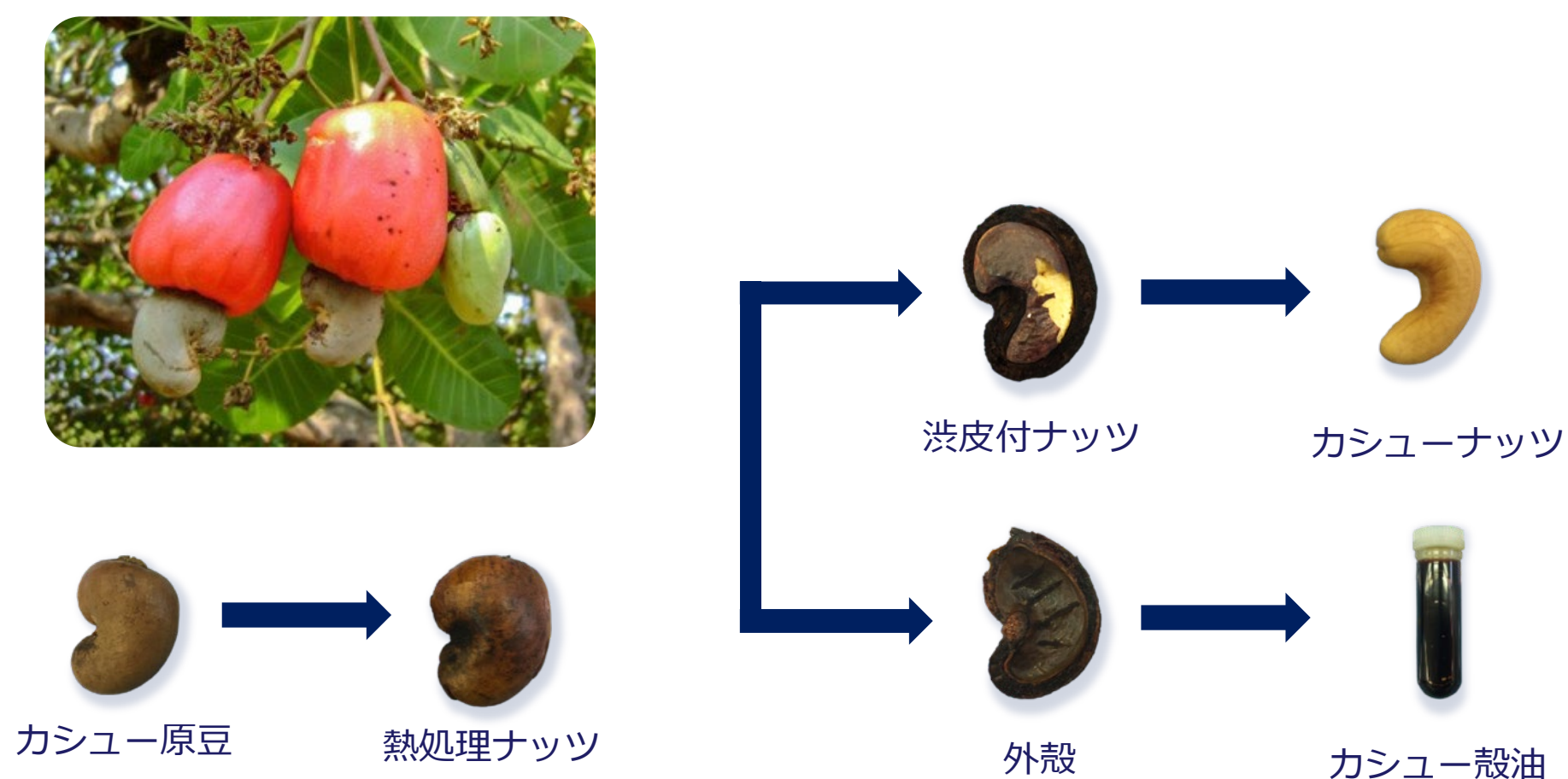
Cashewのはじまりは、ひと粒の実との出会いから



カシューナッツから、植物性フェノール化合物を抽出し、従来にはない漆系塗料と摩擦材を誕生させたことに端を発しています。

この新しい発見が第一歩となり、現在ではデジタル機器、家電機器、自動車、住宅など幅広いマーケットから高い評価をいただく化学会社へと成長してきました。私たちのモノづくりに対する姿勢は、常にこの“新しい発見”の精神が基本。どのようなお客様が、どのような製品に、どのような機能性や意匠性を求めているのか？ 新たな機能性や意匠性を見つけるために試行錯誤を繰り返し製品開発を進めています。

カシュー殻油、ナッツの製造工程



会社概要

本社所在地	埼玉県さいたま市北区吉野町一丁目407番地1
電話番号	048-653-1115
工場	大宮・久喜
事業所	東京・大阪
営業所	名古屋・広島テクニカルセンター

創業	1948年11月24日
事業目的	塗料及び合成樹脂の製造・販売
資本金	10,000万円
売上高	54.5億円（2024年3月）
従業員数	166名（2024年3月）
関連会社	カシュー通商株式会社

海外提携先

香港	Cashew Manfield Holding Limited	JV
	Cashew Manfield (Hong Kong) Innovative Materials Limited	JV
中国	Cashew Manfield (Wuxi) Innovative Materials Limited	JV
	Cashew Manfield (Guangzhou) Innovative Materials Limited	JV
	Cashew - UVCHEM Advanced Materials Technology (Shaoxing) Co., Ltd.	JV
	昆益樹脂材料科技有限公司	JV
タイ	Cashew (suzhou) coating Co.,Ltd.	JV
	Cashew Marketing (Thailand) Co., Ltd.	JV
	Cashew(Thailand) Co., Ltd.	Subsidiary
シンガポール	Cashew Asia Pte. Ltd.	Subsidiary
マレーシア	Tohei Paint (M) SDN BHD	License partner
インドネシア	PT INKOTE INDONESIA	License partner
台湾	Kuen Bong Chemical Industry Corp.	JV
	Cashew Manfield (Taiwan) Innovative Materials Limited Branch	JV
	CKH Trading Co., Ltd.	Sales partner
アメリカ	Cashew Americas LLC	JV
ベトナム	Cashew Mapin Paint (Vietnam) Co., Ltd.	JV

カシューのCSRの取組み

私たちは、環境保護を重視してステークホルダーの期待に応える高性能・高品質な製品の開発を行います。活動においては、法令・社会規範、コンプライアンスを遵守し人権が尊重され、企業活動そのものが社会貢献となることを目指します。

行動方針



安全・品質

お客様に満足を提供するために高品質な完成度の高い信頼のける製品・サービスを提供し、全社をあげて継続的な改善に取り組みます。



人権・労働

従業員一人一人がその能力を発揮し、生き生きと働ける職場環境を目指し、従業員の安全・健康・雇用維持に取り組みます。



環境

私たちは、環境負荷を低減し持続的社会的の実現に寄与する活動を推進していきます。



コンプライアンス

私たちは健全な企業市民になるため、法令・社会規範・企業倫理・社内規範を遵守します。



情報開示

私たちはステークホルダーから信頼されるため、事業内容情報を適切に開示します。



リスクマネジメント

いかなる時もお客様への製品供給を止めることなく、社会的責任を果たします。



社会貢献

地域社会の重要性を認識し、地域社会と共生することで社会の発展に貢献します。



取引先

私たちのCSR活動がすべての取引先に理解され、共に発展出来るよう取り組みます。

沿革

- 1948年 「日本漆塗料株式会社」創設
- 1953年 社名を「カシュー株式会社」に変更
- 1963年 大宮工場第一期工事完成
- 1977年 久喜工場第一期工事完成
- 1984年 業務拡張により本社を尾久から大宮に移転
日暮里に営業本部開設
- 2000年 ISO9001取得
- 2004年 CMW Coatings (Gangzhou)) Limited.設立
Kuentec Cashew Co.,Ltd設立
- 2005年 CMW Coatings (Wuxi) Limited.設立
- 2006年 ISO14001取得
- 2011年 Cashew (Thailand) Co.,Ltd.設立
- 2012年 広島テクニカルセンターを開設
- 2013年 China R&D CenterをCMW(Wuxi) 内に設立
- 2017年 アメリカ現地法人 Cashew Americas LLC設立
- 2021年 Cashew - UVCHEM Advanced Materials Technology (Shaoxing) Co.,Ltd.設立
- 2023年 Cashew Mapin Paint (Vietnam) Co.,Ltd.設立
- 2024年 Cashew (suzhou) Coating Co.,Ltd 設立



1966年頃 尾久工場



1968年頃 大宮工場



現在大宮工場全景

Cashewは、進化し続ける市場の最前線に しっかりと立ち続けます。



自動車部品



漆器・木工・住宅設備



スポーツ・レジャー用品

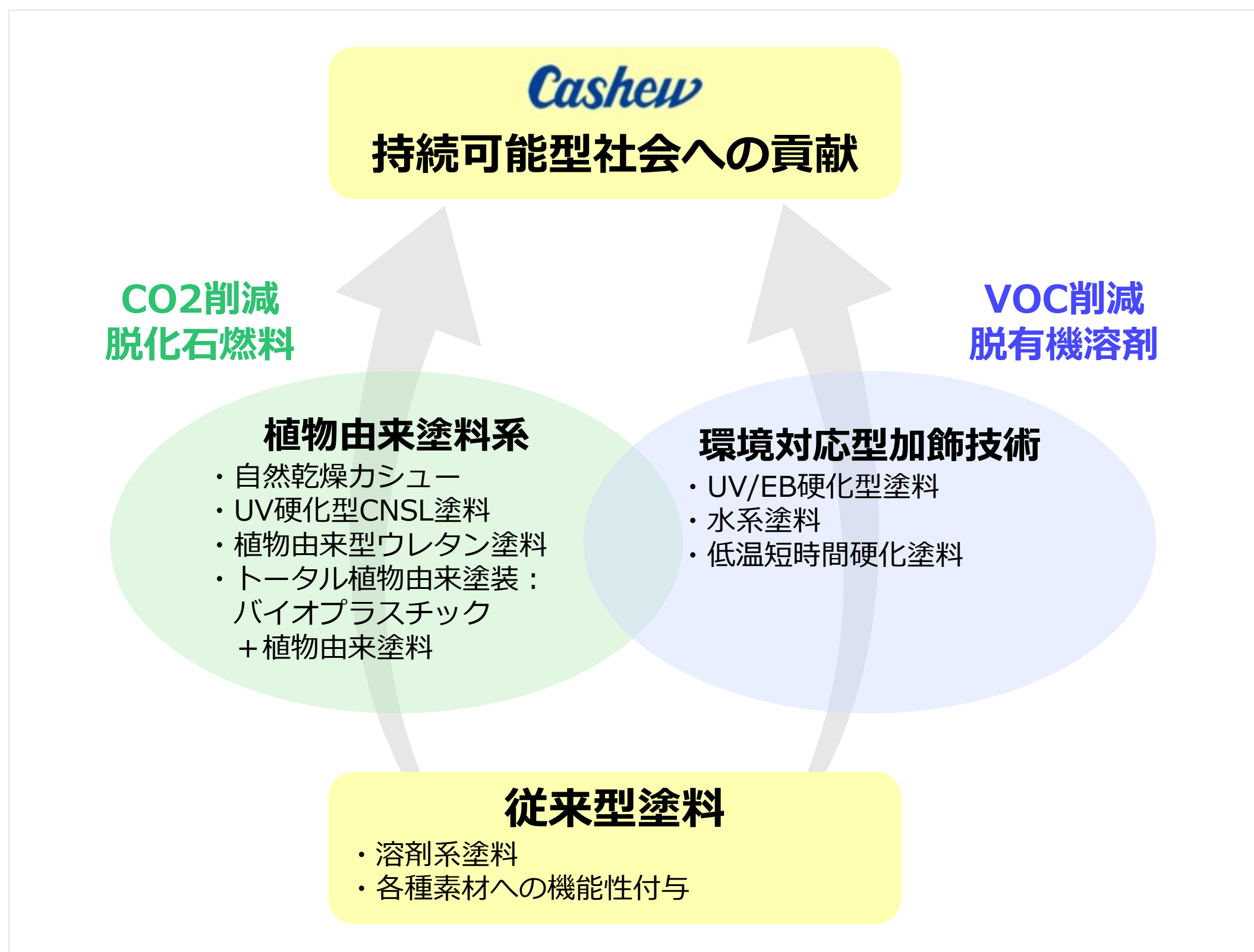


家電



スマートフォン

- お客様（顧客・消費者）ニーズに応える製品・サービスを提供しています。
- 当社の起源である『自然乾燥カシュー塗料』は植物由来の塗料です。
- 当社は持続可能な社会へ向け、CO2削減・VOC削減をキーワードに環境対応型製品の開発に取り組んでいます。



環境対応型新製品

水系2液ウレタン

水系UVハードコート

BIOベース溶剤系2液ウレタン

BIOベース溶剤系UVハードコート

低温短時間硬化塗料 LTシリーズ
(1液、2液、焼付け)

- ・ 当社では品質に関する基本方針を定めています。また品質マネジメントシステムの国際規格（ISO9001）を認証取得し、魅力ある商品・サービス提供のため品質方針を定め品質管理に取り組んでいます。

78 期 品質方針

カシュー株式会社は、一人一人が誠実に、そして熱意をもって業務を遂行し、お客様が満足する品質の製品とサービスを提供します。

1. 品質保証

法令・社内ルールを遵守し、お客様や社会から求められる品質に応え、継続改善に努めます。

2. 製品とサービス

1つ先のお客様も意識したニーズに応える新製品・新サービスを能動的に提案・提供し続けます。

3. 品質管理

全ての工程において、徹底した管理を主体的に行い、異常の未然防止に取り組めます。

4. 教育・啓発

一人一人が品質異常ゼロにするための意識を高めるために全社員に啓発的教育活動を行います。



ISO : 9001登録証

■ 差別撤廃、人権尊重、児童労働の禁止、強制労働の禁止

- ・ 当社は、人種、皮膚の色、性別、年齢、国籍若しくは出身国、家族状況、障がい、健康状態、配偶者の有無、妊娠、言語、性的指向、性自認、宗教、労働組合への加入、政治的見解など事由を問わず、差別のない職場の実現に取り組めます。

差別撤廃	人権尊重
性別や出身等に関係なく、社員一人一人の能力を評価する給与体系と評価制度を運用しています。	ハラスメント規定により社内外の通報窓口の設置と通報者保護、社員へのハラスメント教育を実施しています。
児童労働の禁止	強制労働の禁止
満15歳に満たない者についての雇用は行いません。年齢が確認・証明できる書類を入社時の提出書類に含めることを就業規定において制定し、運用しています。	社内規定により退職に関して規定し、強制労働は行いません。またパスポートは本人確認の目的など必要に応じて「確認」を行う場合を除き、「原本の提出（会社保管）」は求めています。

人権・労働

■賃金、労働時間、社員との対話

- ・社員一人一人の安全と健康に配慮し、働きやすい職場環境づくりに努めます。

▽最低賃金

最低賃金法に基づいて定められる地域・産業別最低賃金に従い、従業員本人に遅滞なく賃金を支払っています。

▽有給休暇取得促進

有給休暇取得促進のため、年間5日間の計画取得推進に取り組んでいます。

▽労働時間数・会社休日数

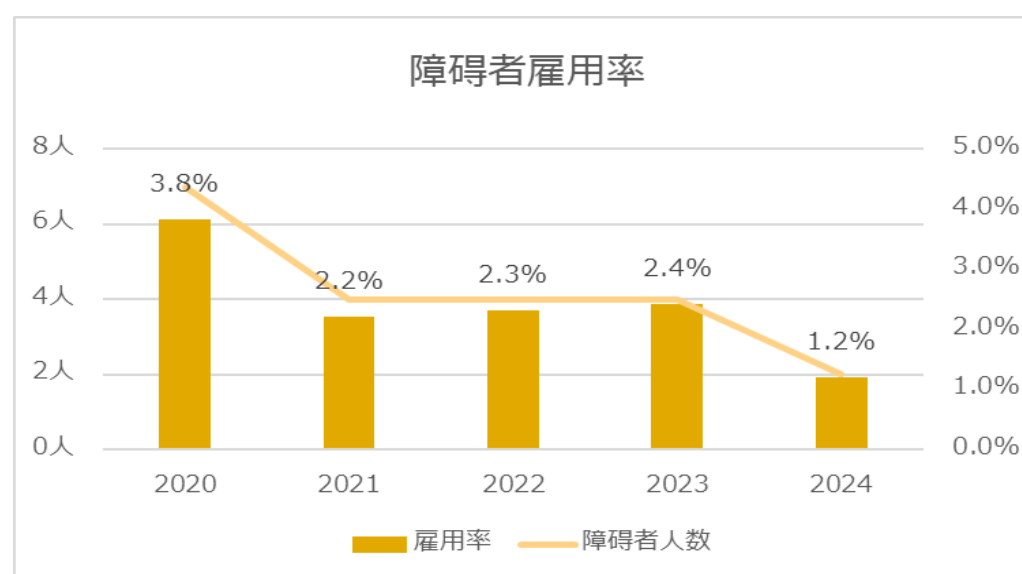
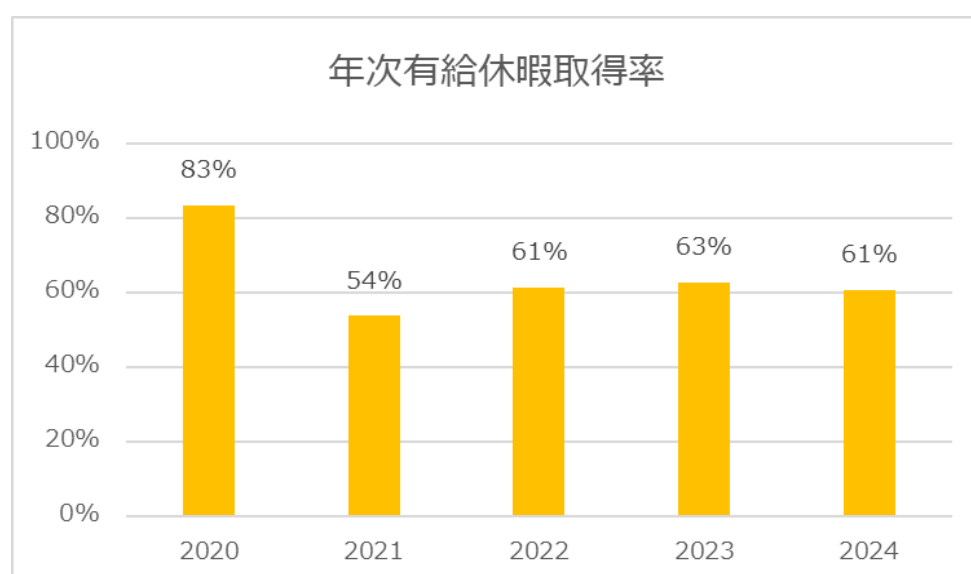
上限労働時間等の法令で定められた労働時間を遵守します。年間休日は125日となっています。

▽定年退職者の再雇用制度

定年退職者の豊富な経験の活用と若手社員への技能継承、退職者が働きがいを持って勤務してもらうことを目的とし、本人が希望した場合は60歳以上の社員は65歳までを限度として再雇用する制度があります。

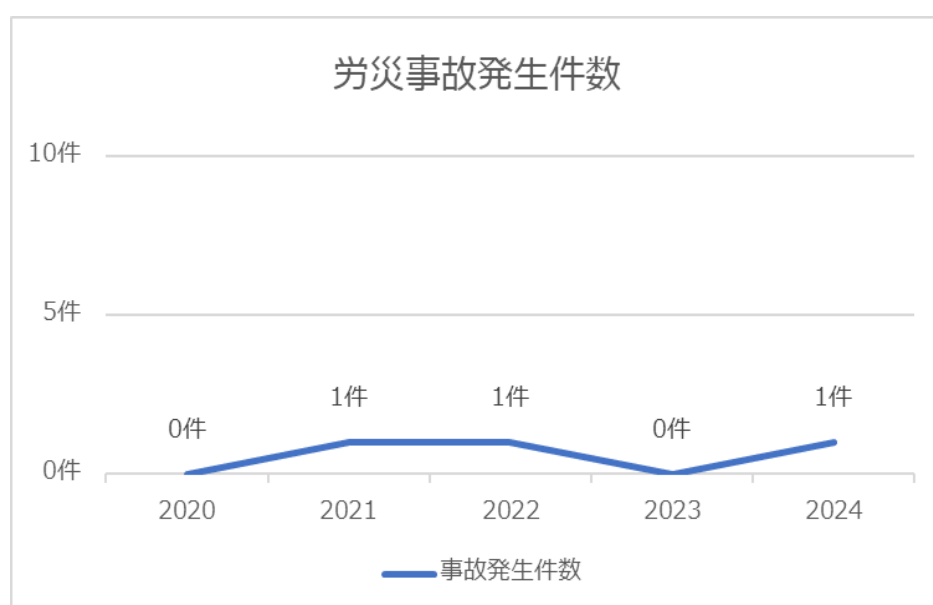
▽対話・労使協議

毎月会社側・組合側との定例協議の場を設け、会社からの情報開示や提案、組合側からの要望や提案など双方で協議する場を設けています。組合員が希望する場合は異動希望を自己申告することができます。



■安全・健康な労働環境、人材育成

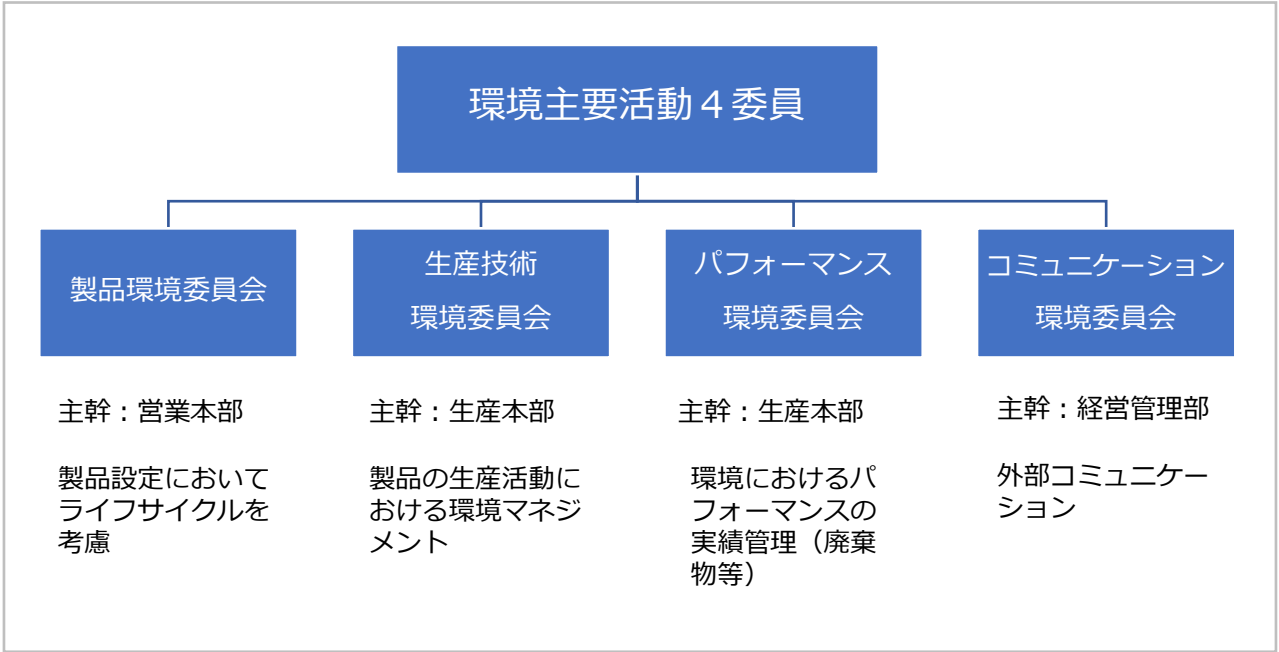
- ・安全を何よりも優先し、職場における災害の防止に努めます。国・地域毎の法令に基づいた安全管理を行い、一人ひとりが主体的・積極的に取り組むことで、安全な職場環境を作ります。安全衛生活動については年間計画に基づき活動しています。



2025年度 労働安全衛生方針	
	カシヨー株式会社 労働安全衛生M委員会
1. 基本方針	(1) 労働災害防止のため、安全で健康的な職場の整備を行う (2) 常に労働安全衛生管理体制を確立し、必要に応じて再構築を行う (3) 労働安全衛生法等、関連した法律/条令/要求事項等を遵守する (4) 社員の健康保持増進を図り、社員の安全と安心に結びつける (5) 自然災害や感染拡大への対応力向上に努める (6) 労働安全衛生マネジメントシステムを意図した管理に取り組む
2. 基本原則	(1) 安全・衛生はすべてに優先する (2) 決めたことは守り、守らせる (3) 危ない仕事は絶対にしない、させない (4) 管理監督者が先頭に立ち、災害『ゼロ』実現のため危険『ゼロ』を目指す
3. 目 標	(1) 危険『ゼロ』、労働災害『ゼロ』、事故『ゼロ』 (2) 作業環境評価基準『第1管理区分』
4. 取 り 組 み	(1) 労働安全衛生委員会の活動 ①年間計画の実行 ②過去トラ、他山の石活動 (2) リスク評価の実施 ①保護具着用基準の見直し ②屋外タンの表示見直し ③フォークリフト実施計画書作成 (3) 労働者の健康管理 ①定期健康診断/ストレスチェックの実施 (4) 定期的な安全点検 ①月次/パトロールの指導事項を継続確認 ②小分け缶表示と保護具着用を重点的に確認 ③運転前アルコールチェックの定期的なチェック ④作業環境測定の実施 ⑤アースの徹底 (5) 保護具と昇降の使用徹底 ①保護具のフィットテスト実施 ②導通チェッカーとヒールストラップの運用開始 (6) 安全教育と訓練 KYT講習、化学物質管理講習、交通安全教育、普通救命講習、フォークリフト講習 有機溶剤講習、静電気講習

■環境マネジメント

- ・ 当社では環境に関する基本方針を定めています。また環境マネジメントシステムの国際規格（ISO14001）を認証取得し、環境負荷の低減に関わる課題に積極的に取り組んでいます。



ISO : 14001登録証

78期 環境方針

カシュー株式会社は、環境負荷を低減し持続的社会的実現に寄与する活動を推進していきます。

1. 企業活動に関わる環境法規制及び組織が同意するその他の規範を順守し、企業に関わる一人ひとりの環境意識の向上に努める
2. 従業員が安全・安心できる作業環境を整え、業務効率の改善を図る
3. 環境負荷を定量的に評価し、環境によりやさしい活動に繋げる
4. 地域社会の環境に配慮し共生と調和を目指す

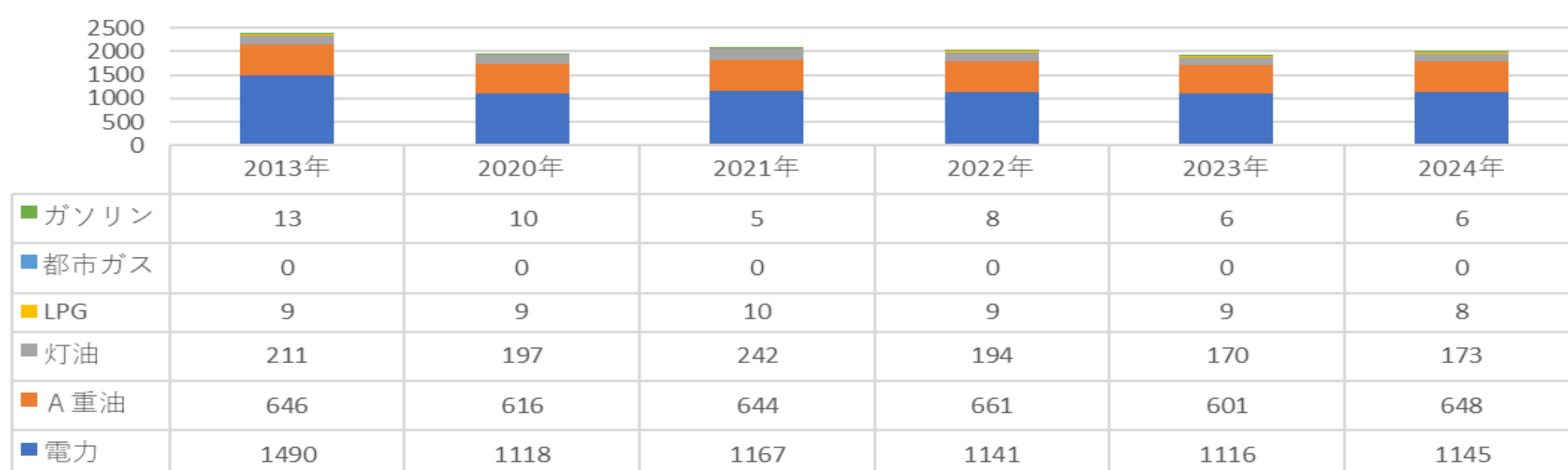
- ・ 当社は社団法人日本塗料工業会が推進するコーティング・ケアを2002年9月に宣言し、環境・安全・健康を守る活動を実施しています。



■温室効果ガス(二酸化炭素)の排出削減

- 地球温暖化対策として、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。2030年までに2013年度比で50%の削減を目標としています。主な取組内容としては既存電力からクリーン電力への段階的な切替、省エネ設備の導入推進、燃料油の切替の実施等に取り組んでいます。

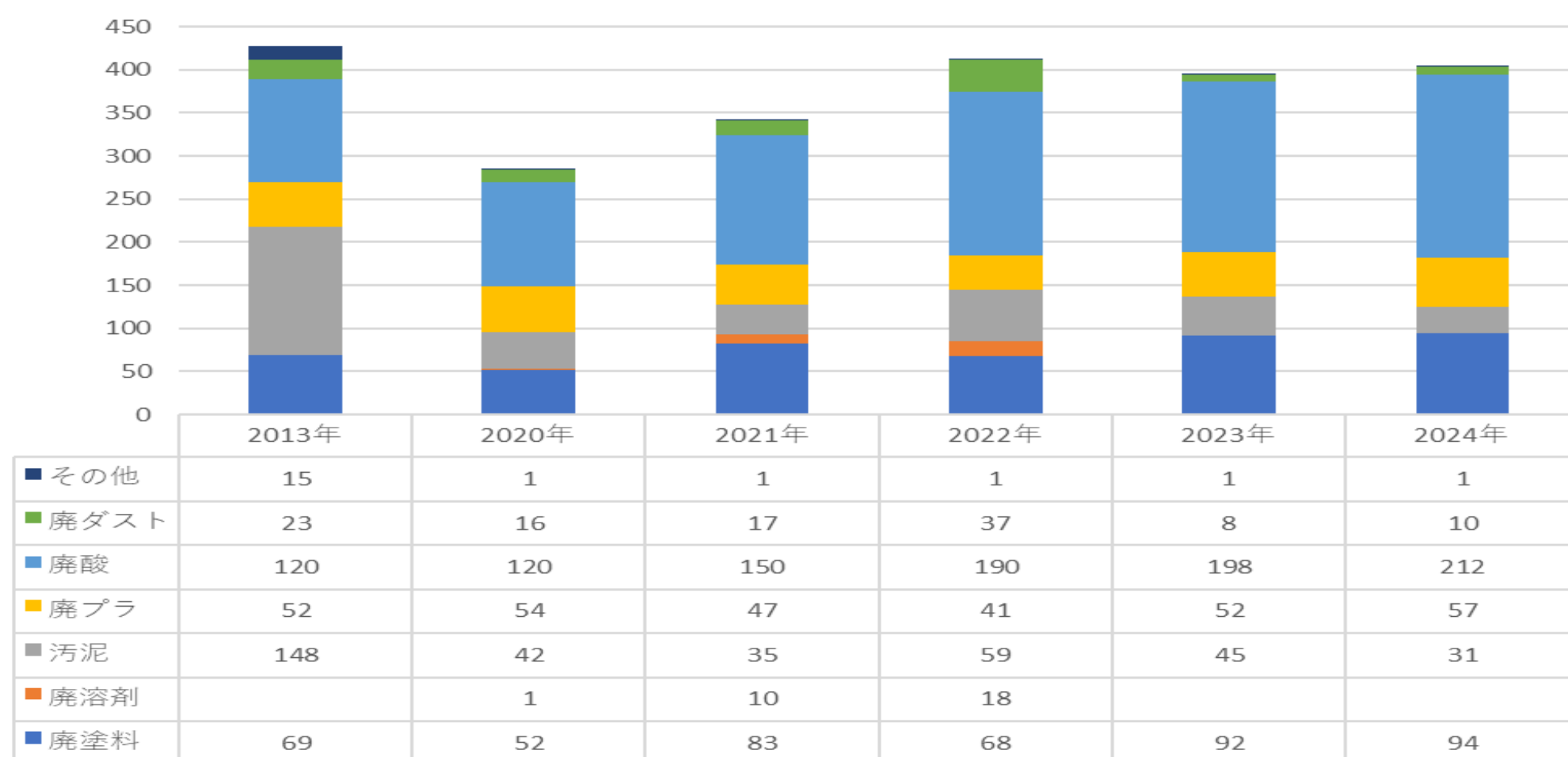
エネルギー使用量（原油換算：k l）



■大気・水等の環境汚染防止

- 大気汚染防止
ボイラーの適正運転を進め、継続的に有害物質排出量の監視を行うとともに排出の削減に努めます。
- 水質汚染防止
排水処理の継続的監視を行い、法規制値を遵守することで水質汚染防止に注力しています。処理設備の適正運転を進めることで引き続き環境負荷低減に努めます。

廃棄物排出量データ（t）



■2013年度実績：318 t ■2024年度実績：405 t ■2030年目標：222 t

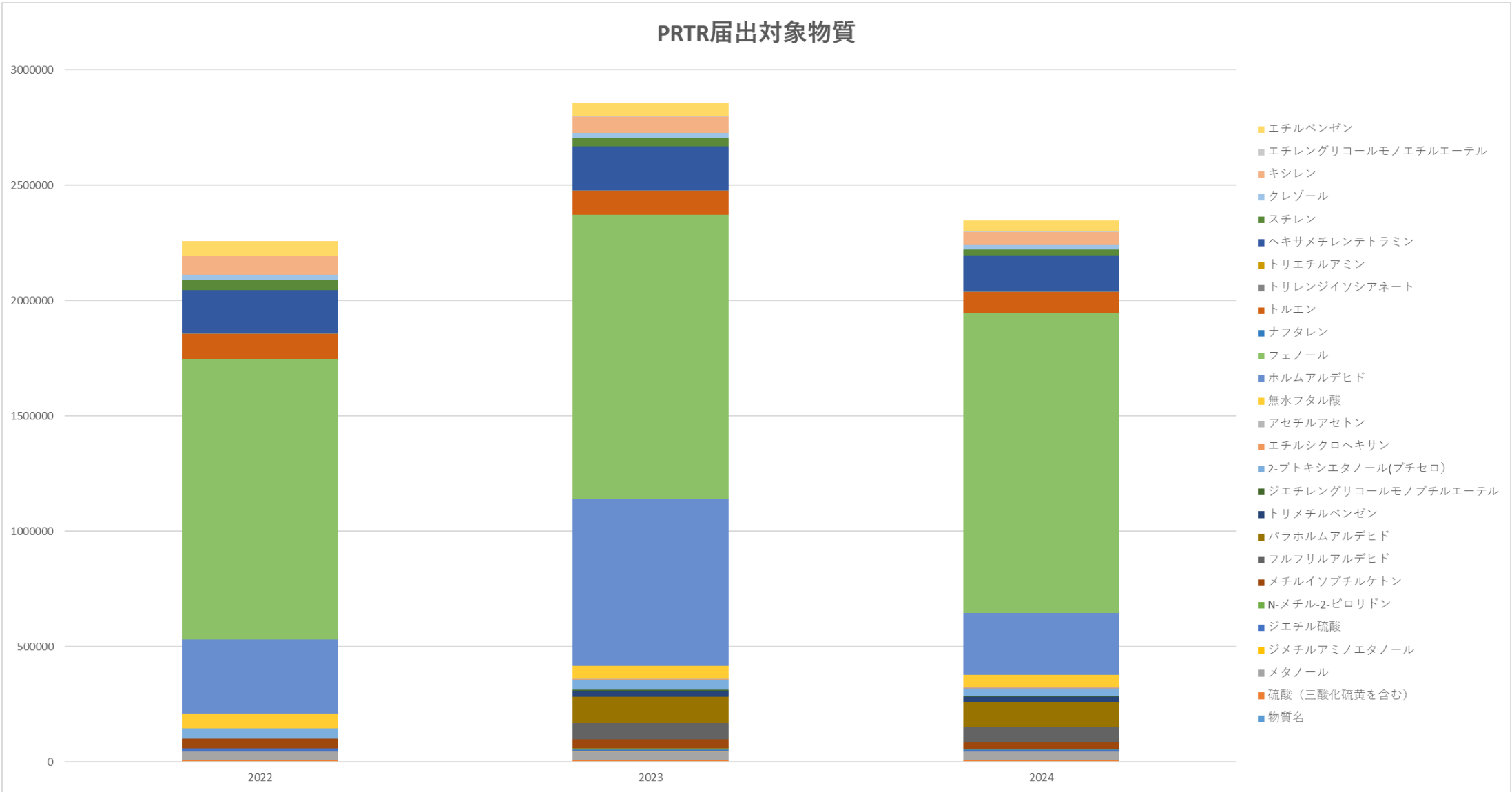
- 法令順守と適切な情報開示により、化学品を開発・製造・販売する企業としての社会的責務を果たしますため、化学物質管理方針を定め各種法令順守に取り組んでいます。

78期製品含有化学物質管理方針

カシュ株式会社は、サプライチェーンを俯瞰し、法令順守と適切な情報開示により、化学品を開発・製造・販売する企業としての社会的責任を果たします。

1. 環境保全
- 開発・調達・製造・販売・使用・廃棄において法令と社内ルールを遵守し、顧客要求に沿った環境負荷低減活動を行います。
2. 製品安全
- 取り扱う化学物質の危険性・有害性・環境影響を把握し、お客様へ速やかな情報・安全な製品を提供すると共に、積極的な環境負荷低減提案を行います。
3. 保安防災・労働安全
- 化学物質を取り扱うにあたってのリスクアセスメント実施と正確な安全情報の提供により、重大災害・重大事故の発生防止につなげます。
4. 教育・啓発
- 化学物質管理への理解と意識向上のため、全従業員に啓発的教育活動を実施します。

リスクアセスメント実施レポート				
タイトル				
実施担当者名		技術開発1課		
作業場所		生産3課(予定)		
作業内容		混合		
労働者数		10人未満		
化学物質形態		粉体		
化学物質数		1		
リスクレベル	有害性 ランク	飛散性 ランク	取扱量 ランク	化学物質名
2, S	A, S	大	中量	非結晶二酸化ケイ素
リスク低減対策				
リスクレベル	実施すべき事項			
2	工学的対策の実施 1) 局所排気装置等の装置と維持管理 2) 可能な限りの密閉化 など			
S	皮膚や眼に対する保護具の使用 など			
作業名		シート表題		管理対策シートNo
一般原則		局所排気装置		200
一般原則		層流ブース		202
混合		液体同士又は液体と粉体の混合		212
一般原則		プッシュプル型換気装置		202a
一般原則		皮膚や眼に有害な化学物質に対する労働衛生保護具		SK100
一般原則		呼吸用保護具の選び方と使い方		R100



■法令の遵守

- 全社的経営方針・体制を社員全員で共有します。コンプライアンスに適切に取り組むためガイドライン行動規範を定め、コンプライアンス違反の通報、相談の為に内部通報受付窓口（予定）を設置します。
- 社員のコンプライアンスの理解度を深めるため定期的な勉強会を実施します。

■競争法の遵守

- 取引における私的独占、不当な取引制限（カルテル、入札談合）等不公正な取引はチェック表による確認を行います。
- 中小仕入先、下請加工業者に対しての優越的地位の濫用防止のためのガイドラインの作成とチェック表による確認を行います。
- 他国で事業を行っている当社グループに属する会社およびHD会社は、他国の競争法も理解し遵守します。

■腐敗防止

- 政治献金・寄付・公務員への対応は法令に基づき実施し、政治行政とは正常な関係に努めます。
- 取引先・仕入先からすべての金銭教授供与は禁止する。また取引先・仕入先からの不当な利益、優遇措置の取得や維持を目的に受ける贈答も禁止する。懸念あるものは届け出によるチェックを実施します。

■機密情報の管理・保護

- お客様、第三者、自社社員の個人情報や機密情報は正当な方法で入手するとともに厳重に管理し、適切に利用し保護されます。
- システム的な防衛対策を強化し保護強化を図ります。
- 定期的な勉強会の実施により各人の知識レベルの向上をはかります。

■輸出取引管理

- 原材料メーカーや各国既存化学物質リストからの化学物質情報を、収集・管理いたします。
- これらの情報に基づき、当社製品の輸出を各国法令に抵触しないよう適切に管理いたします。

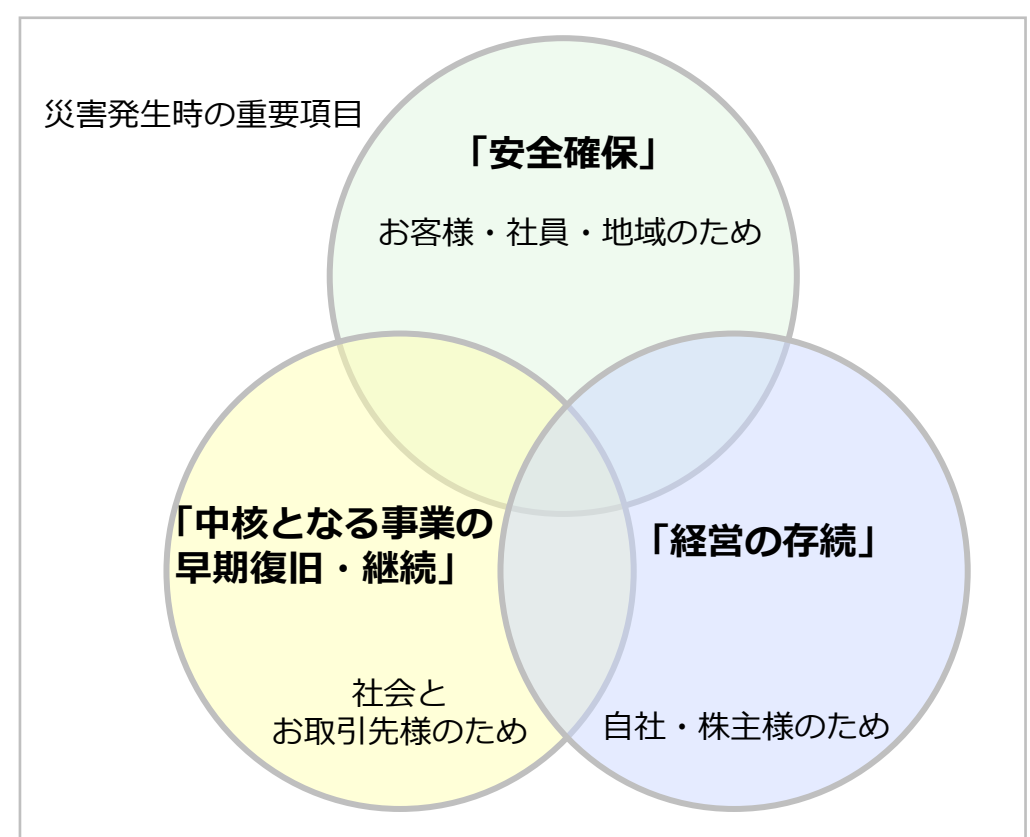
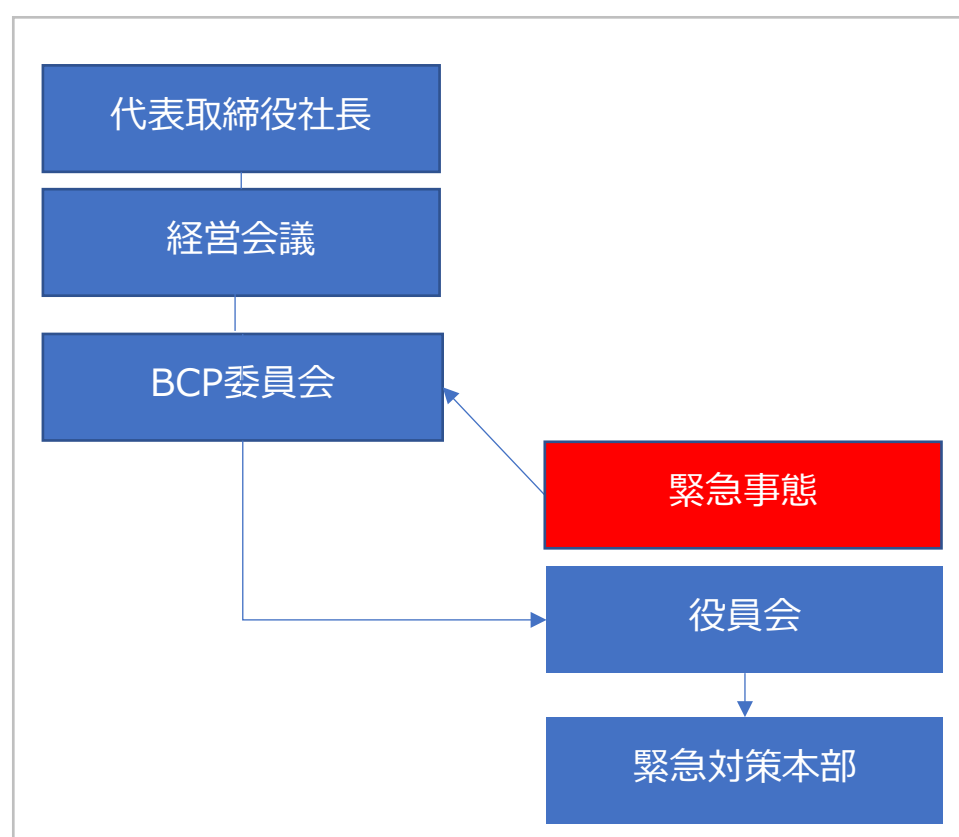
■知的財産の保護

- 自社のもつ知的財産権のうち特許権については、職務発明規定により管理を行い、他商標権・意匠権・実用新案権については所管部にて統一管理します。
- 他社知的財産権侵害防止確認については事業化前に特許庁情報から既存特許等の確認実施を行い対応します。

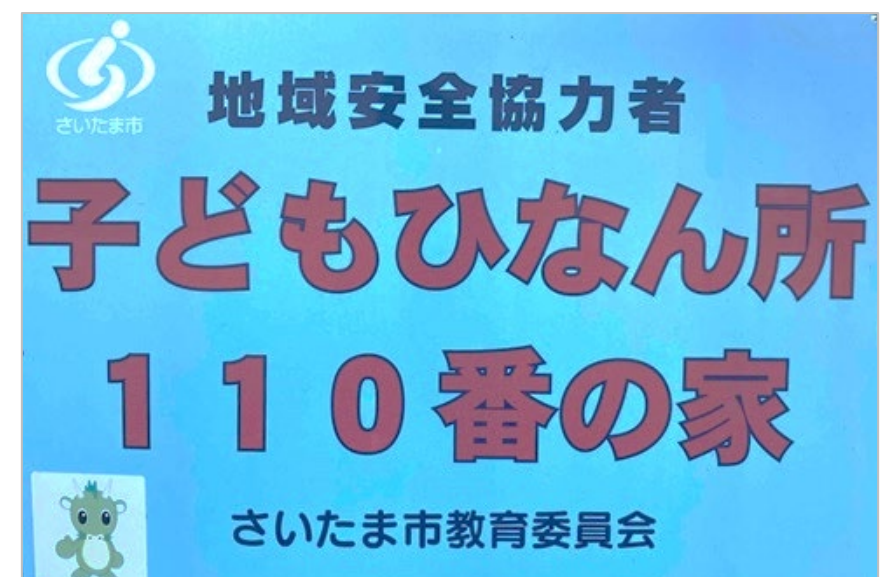
- ・ 財務状況・業績、事業活動の内容などの情報をステークホルダーの皆様に適宜・適切に開示するとともに、オープンで公正なコミュニケーションを通じて相互理解、信頼の維持・発展に努めてまいります。
- ・ IR（財務）に関しては当社WEBサイトに掲載し公表しております。
- ・ CSRレポートを発刊し、ステークホルダーの皆様に情報開示をいたします。

- ・ 当社の事業行動に関するリスクを分析し、全社的な管理の仕組みを構築・運用しています。

リスク管理体制



- ・ 本社大宮工場周辺の清掃活動を毎月実施しています。さらに、地域イベント（夏祭り・盆踊り）への協賛等、地域社会とのコミュニケーションを推進しています。
- ・ さいたま市内の子どもたちの登下校時の安全確保を目的とし、身の危険を感じたときなどの緊急時に、安心して助けを求め、駆け込める場所として、「子どもひなん所110番の家」プレートを外から見やすい位置に掲げ活動に協力しています。



■ 自社内におけるCSR活動の仕組み・展開

- ・ 今後CSRレポートで社内におけるCSR教育やCSR活動について開示いたします。

■ 自社からお取引先、仕入先に対するCSR活動の仕組み・展開

- ・ 当社は紛争鉱物を使用しない方針であり、サプライチェーンの透明性を図ると共に、責任ある鉱物調達の推進に取り組んでいます。
- ・ 私たちのCSR活動がすべての取引先に理解され、共に発展出来ることを目指すため、セルフチェックシートを用いたアンケート調査の実施により、推進状況を確認しております。

調達方針

カシュー株式会社は、お取引先との共存共栄と持続可能な社会を目指し、以下の基本方針を実践いたします。

基本方針

1. 公平、公正、平等

お取引先に公平かつ公正な姿勢で臨みます。
また、自由競争を基本とし、採用機会の平等性に努めます。

2. 相互信頼

お取引先と相互信頼を構築するべく行動いたします。

3. コンプライアンス

各種の法令・社会規範等を遵守し、環境や安全衛生に配慮した購買活動を実践します。

4. 社会的責任

企業の社会的責任を果たすため、CSRの取り組みをお取引先と相互に行います。

自社におけるCSRの取組項目



安全・品質



人権・労働



環境



コンプライアンス



情報開示



リスクマネジメント



社会貢献



取引先

■ 自社からお取引先に対するCSR活動の仕組み・展開

- ・ お取引様との勉強会の模様



Cashew

Cashew
Coating & Friction materials

www.cashew.co.jp